



ぐ たいてき ないよう
プランの具体的な内容



1. プランに込めた基本的な考え方

みんな「こまき市民」、 助けあって笑顔で暮らせるまち



このスローガンは、こまき市民の代表者が何度も話し合いをしてつくりました。

まず私たちは「多文化共生とは、外国人市民が日本国籍を取得することや、外国人市民が家庭内で使う言葉（母語）や文化（母文化）を失って日本人になることとは違う」と考えました。そして「外国人市民を“お客さん”にしないプランをつくりたい」と考えるようになりました。

こうした話し合いを進めるなかで、次のことをもとにプランをつくっていくこととしました。

私たち「こまき市民」は、お互いに

1. 自ら進んで地域社会へ参加します（地域社会への参加促進）
2. 差別することなく人権を尊重します（個人の尊厳と基本的人権の尊重）

「多文化共生のまち」をめざすためには、毎日の生活のなかで、国籍・民族・文化・言葉のちがいを認め合い、お互いが思いやり支えあう心を育てていくことが大切です。こうした心を育てていくことが、こまき市民のだれもが自立し、地域社会へ参加する輪を広げ、みんなが笑顔で暮らせるまちをつくっていくと考えます。



2. 市民一人ひとりができることから始めよう

“みんな「こまき市民」、助けあって笑顔で暮らせるまち”を実現するためには、市民一人ひとりが、お互いを支えあい協力しながら、身近にできることを、一つひとつ行っていくことが大切です。課題はたくさんありますが、特にこまき市民にとって大切なことを、まずは5つ取り上げ、それらを“めざすこと”としました。

そして、この5つの“めざすこと”のなかで、こまき市民のだれもが自らできることを、市民、企業、行政それぞれの立場から考え、それらを“挑戦すること”としました。

なお、“挑戦すること”については、こまき市民が多文化共生を具体的に推進していくため、“実行する人”も明らかにし、基本的でわかりやすい内容にしました。

こうしてまとめたものが、次のページの体系図になります。

この5年間で基本的な内容を実践することによって、課題を解決しながら、市民一人ひとりの交流の輪を広げていき、多文化共生の土台をつくっていきます。



3. プランの体系図

「できることから始めよう」編 (2011 ~ 2015年度)

スローガン
みんな「こまき市民」、助けあって笑顔で暮らせるまち

私たち「こまき市民」は、お互いに

自ら進んで
地域社会へ参加します
(地域社会への参加促進)

差別することなく
人権を尊重します
(個人の尊厳と基本的人権の尊重)

めざすこと
(基本目標)

- めざすこと①**
一人ひとりの防災対策が100点のまちにします
- めざすこと②**
自治会の活動への参加を増やします
- めざすこと③**
正しいごみの出し方を知り、ごみの減量をめざします
- めざすこと④**
子どもたちの「多文化共生」を応援します
- めざすこと⑤**
国籍・民族・文化・言葉などお互いの「ちがい」を学びます

挑戦すること 挑戦すること 挑戦すること 挑戦すること 挑戦すること

7～8ページ 10～11ページ 13～14ページ 16～17ページ 19～21ページ



できることから始めます